



アンリ・マニエール(右手を前に差し出すアトリエのロダン) 1911年 セラチンシルバー・プリント(ファクシミリ)

2017年は、彫刻家オーギュスト・ロダン(1840～1917年)の

没後100年にあたります。

これを記念し、日本でも有数のロダン・コレクションを誇る当館は、

「ロダン没後100年に寄せて」という総称のもと、

彫刻家ロダンと写真との関係に着目した3つの小企画展を連続で開催します。

写真術が誕生したのは19世紀。

多数の芸術家がこのメディアを積極的に活用しました。

ロダンも例外ではなく、自作の彫刻を写真家に撮影させ、

1890年代以降、それらの写真を作品として展覧会に出品しました。

本企画は、当館所蔵品を中心に、

ロダンと写真との関係性を直接に物語る作品のみならず、

ロダンとほぼ同時代の彫刻家ブランクーシの自撮りによる彫刻写真や、

さらにはロダンの彫刻を現代の写真家が撮影したものなど、

複数の作品／テーマを組み合わせることで、

ロダンの芸術観や写真観を多方面から再考する試みです。

ロダンの新たな一面をご紹介します本企画。

ご鑑賞の後は、ロダン館へも足をお運びいただき、

新たな視点でロダン芸術を丸ごと味わってください。

\*本展会場はいずれも当館第7展示室です。

\*所蔵先の表記のない作品は、すべて当館蔵です。

|             |                     |   |
|-------------|---------------------|---|
| 同時開催<br>企画展 | 8月14日(月)～10月12日(木)  | 2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展<br>戦国! 井伊直虎から直政へ |
|             | 10月21日(土)～12月10日(日) | 美しき庭園画の世界 -江戸絵画にみる現実の理想郷                    |



#### 交通のご案内

JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分

JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分

JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分

静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分または静鉄バスで約3分

東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

#### 美術館利用のご案内

■開館時間／10:00～17:30 (展示室への入室は17:00まで)

■休館日／毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は、翌日・火曜日休館

■観覧料／一般300円(団体200円)、大学生以下・70歳以上無料

※企画展をご覧になった方は無料。企画展の観覧料は、展覧会ごとにより異なります。※団体のお申込/20名以上の団体のお申込は、美術館総務課へお問合わせください。学生の団体を引率の場合、引率の先生は無料になる場合があります。詳しくは美術館まで。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は、企画展、収蔵品展とも無料でご覧いただけます。専用駐車場のほか、車椅子も完備しております。美術館総務課までお問合わせください。

■託児・授乳室／無料、予約不要でご利用できます。

※託児/毎週日曜日および祝日、10:30～15:30。対象は乳児・幼児(6ヶ月～小学校就学前)。お預かりできる時間は2時間以内です。ご希望が多い場合は、お断りすることもあります。※ベビーカーを無料でご利用できます。インフォメーションカウンターにお声をおかけください。

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767

ウェブサイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

お問合わせ 総務課/054-263-5755 学芸課/054-263-5857

テレフォン・サービス/054-262-3737

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

静岡県立美術館  
MUSEUM COLLECTION  
収蔵品展2017

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

# ロダン 没後100年 に寄せて

Vol.1

9月5日(火)～10月9日(土)

## 「動き」を求めて

マイブリッジ、ロダン、オノデラユキ

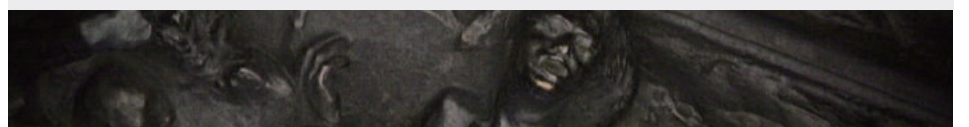


Vol.2

10月11日(木)～11月12日(日)

## フォーカス!《地獄の門》

ロダンの彫刻写真(ファクシミリ)、安斎重男による《地獄の門》



Vol.3

11月14日(火)～12月17日(日)

## 彫刻を撮る

ロダン、ブランクーシの彫刻写真





Vol.1

9月5日(火)～10月9日(月・祝)

# 「動き」を求めて

マイブリッジ、ロダン、オノデラユキ

動画誕生以前、動物や人の連続する動きを複数のカメラで同時に写真に収めたエドワード・マイブリッジ。彫刻で動きの表現を追求し続けたロダン。そして、マイブリッジへのオマージュ作品をやはり写真で表現した、現代の写真家オノデラユキ。マイブリッジとロダン、マイブリッジとオノデラユキの関係を軸に、静止芸術における動きを追求した3人の作品を紹介します。



エドワード・マイブリッジ〈左手に新聞紙を持って地面から起き上がる〉(アニマル・ロコモーション—電氣的写真による運動の連続形態の研究)より 1887年 コロタイプ印刷 東京都写真美術館蔵



オノデラユキ〈"Muybridge's Twist" No. 3〉2015年 チャコール、クレヨン、写真、キャンバスにコラージュ 個人蔵 ©Yuki Onodera



オーギュスト・ロダン《歩く男》 1900年 ブロンズ H85×W28×D58(cm) 姫路市立美術館蔵 画像提供:姫路市立美術館

会期中イベント

## アーティスト・トーク

9月23日(土・祝) 14:00～(当館講座室)  
「オノデラユキ アーティスト・トーク —“写真”を超えて“物語”を紡ぐ—」

パリを拠点に活躍する、現代日本を代表する写真家オノデラユキ氏。スライド・プロジェクションを交えながら、本展出品作や、創作の秘密など、作家本人による魅力あふれるトークをお届けします。

\*申込不要 無料 先着50名程度

## 当館学芸員によるフロア・レクチャー

9月17日(日) 14:00～(第7展示室)  
当館学芸員が展示室で作品について解説します。 \*観覧券が必要です。

Vol.2

10月11日(水)～11月12日(日)

# フォーカス!《地獄の門》

ロダンの彫刻写真(ファクシミリ)、安斎重男による《地獄の門》

《地獄の門》は、ロダンがその後半生を費やして制作し続けた代表作です。ロダンの生前に撮影され、この大作の秘密に迫る写真(ファクシミリ)と、国立西洋美術館所蔵の《地獄の門》の細部に肉薄した安斎重男の連作を紹介し、改めてその魅力に迫ります。



ウジェーヌ・ドリュエ《地獄の門》1900年 セラチン・シルバー・プリント(ファクシミリ)

会期中イベント

## 当館学芸員による美術講座

10月29日(日) 14:00～(当館講座室)  
「ロダン没後100年と《地獄の門》」  
南 美幸(当館上席学芸員)  
\*申込不要、無料

## ロダン・ウィーク

11月1日(水)～11月5日(日)  
\*今年も盛り沢山のイベントを開催します。  
詳細については、当館までお問合せください。



安斎重男(ロダン「地獄の門」ディテール)より 1989年 セラチン・シルバー・プリント ©ANZAI



Vol.3

11月14日(火)～12月17日(日)

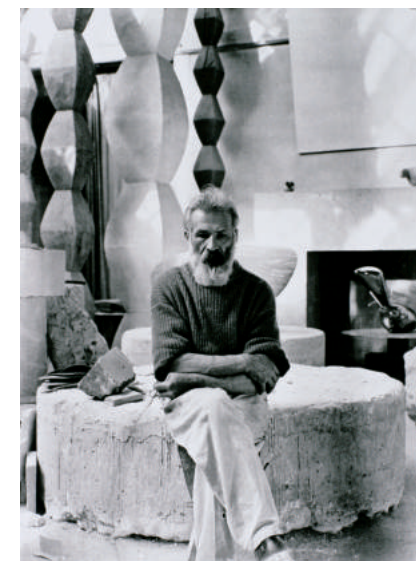
# 彫刻を撮る

ロダン、ブランクーシの彫刻写真

写真を積極的に活用したものの、決して自ら撮影は行わなかったロダン。ロダンと交流のあった彫刻家ブランクーシは、彼とは異なり、第三者に作品の撮影を任せず、自らアトリエの演出・照明・撮影の全てを行いました。ロダンおよびブランクーシの彫刻・アトリエや肖像を撮影した写真を展示し、その相違や、彫刻家と写真との関係について再考します。



コンスタンティン・ブランクーシ(ボガニー嬢I) 1912年 セラチン・シルバー・プリント ©Succession Brancusi - All rights reserved (Adagp) 2017 C1520



コンスタンティン・ブランクーシ(セルフポートレート) 1922-25年 セラチン・シルバー・プリント 東京都写真美術館蔵 ©Succession Brancusi - All rights reserved (Adagp) 2017 C1520



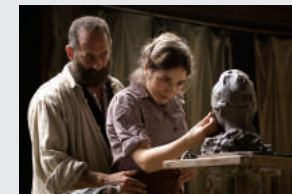
ドルナック(ヴィクトル・ユゴー記念碑の前のアトリエのロダン) 1898年 鶏卵紙(ファクシミリ)

会期中イベント

## 当館学芸員によるフロア・レクチャー

11月25日(土) 14:00～(第7展示室)  
当館学芸員が展示室で作品について解説します。  
\*観覧券が必要です。

ロダン  
カミーユと永遠のアトリエ



© Shanna Besson - Les Films du Lendemain

## 静岡シネ・ギャラリーとのコラボ 映画「ロダン カミーユと永遠のアトリエ」 関連イベント

12月9日(土) サールナート・ホール  
静岡シネ・ギャラリーで12/9～12/22上映予定の映画「ロダン カミーユと永遠のアトリエ」に関連する解説を、当館学芸員がスライド・プロジェクションを交えて行います。  
\*共催: 静岡シネ・ギャラリー  
\*詳細については、シネ・ギャラリーまでお問合せください。  
TEL 054-250-0283  
ホームページ <http://www.cine-gallery.jp>